

愛媛県岩松川で得られたオカメハゼ

山川宇宙¹・岩田和鷹²・清水孝昭³¹筑波大学大学院生命環境科学研究科生物科学専攻²西条自然学校³愛媛県農林水産研究所水産研究センター写真1 *Eleotris melanosoma* オカメハゼ (TKPM-P 27238, 生時)

種の記録

Eleotridae カワアナゴ科

Eleotris melanosoma Bleeker, 1853

オカメハゼ (写真 1)

標本 徳島県立博物館魚類標本 (TKPM-P 27238)

1 個体, 標準体長 13.3mm, 岩松川 (愛媛県宇和島市津島町岩松: 北緯 33 度 07 分 04 秒, 東経 132 度 31 分 09 秒), 2024 年 9 月 15 日, 岩田和鷹採集。

種の特徴

上記標本は, 前鼻管の先端が上唇に届く, 尾鰭は暗色を呈する, 眼下の横列孔器列は 6 本あり, 縦列孔器列 A を横断する横列孔器列 2 本の中に横列孔器列がない, 鰓蓋部の上下の孔器列が後方で接するなどの形態学的特徴を有し, 明仁ほか (2013) および前田 (2014) に従って, オカメハゼと同定された。

備考

上記標本は, 岩松川の津島大橋約 10m 下流左岸に位置する芳原川合流地点で採集された。同地点は汽水水域であり, 底質は泥で, 転石が点在していた。同所では同属のチチブモドキ *E. acanthopoma* Bleeker, 1853 (TKPM-P 27239) も見られた。

本種は国内では小笠原諸島, 茨城県および長崎県から琉球列島にかけて記録されている (山川ほか, 2023a)。愛媛県では千丈川および伊方大川から記録されている (辻・松田, 2011; 山川ほか, 2023b)。本報告は登録標本に基づく本種の同県 3 例目の記録である。なお, 県内で採集された個体は体長 13.3–33.8mm と小

さく (辻・松田, 2011; 山川ほか, 2023b; 本研究), 現時点では定着していないと考えられる。

謝辞

標本の登録を行っていただいた徳島県立博物館の井藤大樹博士に厚く御礼申し上げる。本調査は「令和 6 年度えひめのブルーカーボン里海づくりモデル事業」により実施された。

引用文献

- 明仁・坂本勝一・池田祐二・藍澤正宏. 2013. ハゼ亜目. 中坊徹次 (編), 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会, 秦野. 1347-1608, 2109-2211.
- 前田 健. 2014. オカメハゼ. 沖山宗雄 (編), 日本産稚魚図鑑 第二版. 東海大学出版会, 秦野. 1224-1225.
- 辻 幸一・松田久司. 2011. 愛媛県八幡浜市感潮域の魚類. 南予生物, 16: 12-38.
- 山川宇宙・山下龍之丞・尾山大知. 2023a. 千葉県初記録のオカメハゼおよびヒトミハゼ. 南紀生物, 65 (2) : 105-108.
- 山川宇宙・鎗田めぐみ・水野晃秀・井藤大樹・清水孝昭. 2023b. 愛媛県伊方大川で採集されたオカメハゼ. 南予生物フィールドノート, 23006.

(2024 年 10 月 18 日受付, 2024 年 10 月 19 日公開)

連絡先: 山川宇宙 (e-mail: uchukawaanago@gmail.com)
(Uchu Yamakawa, Kazutaka Iwata and Takaaki Shimizu. 2024. New record of *Eleotris melanosoma* (Eleotridae) from the Iwamatsu River, Ehime Prefecture. NS Fieldnote, 24010)